

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
情報	情報 I	2	一斉	共通	2

教科書（発行所）	最新情報 I 新訂版（実教）
教科書以外の教材	1 最新情報 I 新訂版 学習ノート

目 標	1 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得する。 2 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。		
学期	学習事項	学習内容	考査等
学習計画	<b>1 学期</b> 第1章 情報社会と私たち 1 情報化社会 2 情報社会の法規と権利 3 情報技術が築く新しい社会 第2章 メディアと情報デザイン 1 メディアとコミュニケーション 2 情報デザイン 3 情報デザインの実践	情報社会の現状 情報の特性 情報モラル 知的財産権 著作物 個人情報 プライバシー  メディアの種類と特性 コミュニケーション の特徴 情報の伝え方 文書の作成 プレゼンテーション Web 作成	期末考査
	<b>2 学期</b> 第3章 システムとデジタル化 1 情報システムの構成 2 情報のデジタル化 第4章 ネットワークとセキュリティ 1 情報通信ネットワーク 2 情報セキュリティ	コンピュータの仕組み ソフトウェアの種類 アナログとデジタル 情報量 演算の仕組み  ネットワークの構成 通信の取り決め Web・メールの仕組み 安全対策 情報セキュリティの確保	中間考査  期末考査
	<b>3 学期</b> 第5章 問題解決とその方法 1 問題解決 2 データの活用 3 モデル化 4 シミュレーション 第6章 アルゴリズムとプログラミング 1 プログラミングの方法 2 プログラミングの実践	問題解決の手順 データの収集や分析 データベース モデル化の手順 シミュレーションの意義  アルゴリズムによる表現 プログラミング言語 プログラミングの作成	学年末考査
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。 2 用語を単独で「暗記」するのではなく、さまざまな事象を情報とその結びつきとして捉え「記憶」していく。 3 ノートは余白をとりつつ丁寧に大きく書くこと。黒板に書かれないこともメモすること。 4 予習を行う必要はないが、授業に集中し、復習をしっかりと行うこと。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<b>使える</b> 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
	<b>できる</b> 情報と情報技術について、他の事項と関連付けて理解している。 学習内容の特質に応じた探究の方法を習得している。	情報社会の中に課題を見だし、解決するための計画を立て、その結果を予測している。自らの予測について検証している。	情報社会の中に探究活動の課題を探ろうとする。 情報社会に主体的に参画し、見通しをもったり振り返ったりする。
	<b>分かる</b> 情報と情報技術の概念を理解するための重要用語と、その用語に関わる知識を身に付けている。 コンピュータなどに関する基本操作やプログラミングなどの基本的な技能を身に付けている。	知識・技能を活用して、課題を解決するための方法に気づき、説明している。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身に付ける過程において、粘り強く学習に取り組んでいる。
評価の方法	授業時の観察、定期考査、課題確認テスト（小テスト）、課題レポート、週課題、授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		